

道教組

2019年5月14日発行

DOKYOSO NEWS VOL.547

教職員とその家族を守る
全教自動車保険

5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78
TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472

全道各地で教科書展示会

子どもたちの手に よりよい教科書を

全道227会場で教科書展示

来年度使用の小学校教科書展示会が、全道227会場で開催されました。

今回は、今年の「外国語」科の教科書が新しく発行され、2年前に採択された「道徳」教科書の採択替えも行われます。



教科書の大型化と過去最大のページ数が示すこと

各教科の平均ページ数の合計は現行より10%増え、英語科を入れると前回より14%増となります。1998年度以降最多で、そのときと比べ約1.8倍です。さらに、AB判やA4判といった「教科書の大型化」も進んでいます。

新学習指導要領で「主体的・対話的で深い学び」などの指導方法、子どもの学び方や身につけるべき態度などがこまめに盛り込まれたため、どの教科書も「学びをつかむ」「自分の考えを書く」「友だちと学ぶ」「ふりかえってまとめる」という学習の手順や話しあ

いのしかた、ノートのまとめかた、黒板の書きかたなどの細かな学習方法に多くのページを使い、それが大幅にページ数が増える要因となっています。

社会科、政府見解を詳しく書き込ませる

社会科教科書では、北方領土だけでなく竹島、尖閣諸島についても、「日本の領土」という記述に「固有の」という言葉を挿入せよという検定意見が付けられました。

竹島について検定意見により「韓国が不法に占領しているため、日本は抗議を続けています」という表現になった教科書もありました。尖閣諸島についても、検定意見から「領土問題は存在しません」という文を付け加えた教科書もあるなど、「政府見解」を教科書に書き込ませる検定が行われました。

本来、教科書内容は学問的な見地から妥当性が認められることを基準に書かれるべきであり、「教育の政治利用」との指摘もあります。

道徳や英語の教科書は

道徳は、前回の検定で和菓子屋・楽器店に変えた教材はいずれも姿を消しました。また、「大切な国旗と国歌」

の関連資料の記述や、現職の総理大臣の写真なども削除されました。

その一方で、「かぼちゃのつる」「はしの上のおおかみ」といった定番の教材は全社で残るなど、道徳教科書の問題は、大きくは変わっていません。

今回初めて登場した英語教科書は、7社から発行されましたが、その内容はどれも「名刺交換をしよう」「誕生日ポスターを作ろう」「プロフィールカードを作ろう」と似かよった内容で、言葉や文化を学ぶ学習よりも、目先の英会話に慣れさせることを優先した学習になっています。

アルファベットの大字・小文字の書き方や書き取り、600〜700の単語や連語を覚える、文章を読む、書く、話すことまで要求され、英語嫌いを増やすことが危惧されます。



教科書や授業について、職場で語り合いましょ

各社の教科書については、教科書会社のホームページにその概要が紹介されています。そうした資料も参考にしながら、教科書の課題などについて、職場で語り合いましょ。

職場に、教科書や授業について自由に語り合える雰囲気をつくることは、子どもを中心に、自由で主体的な学び、教育課程をつくり出す原動力となります。

各専門部総会の様子から

事務職員部総会 (5月18日)

2018年度の活動報告について、経過報告はもちろんです。2018年の7月29日から31日にホテルライフォート札幌で開催した、全国学校事務研究会札幌集会についても報告も行いました。全国から約100名の仲間達が札幌に集結し、時間を惜しんで熱い議論や楽しい交流を行いました。会場だけを用意し、何もかも自分たちで動ければ良いのですが、結果的に、現地実行委員会で動ける人数は少なくなってしまいました。ライフォートの想定以上のバックアップには感謝しかありません。担当者には、休暇日だったにもかかわらず、我々のためだけに出勤し、さらに色々配慮していただいたこともあり、本当に会場をライフォートにしてよかったと言えます。メールで連携を取るだけでなく、何度か迷惑かと思いつつも5分でも10分でも細かい話をしにライフォートに足を運んだことが、この集会にかけている我々の熱意だということが、担当者の方に伝わったのだと考えます。どの仕事でも、お互いが気持ち良く仕事できるのが一番ということを実感できました。

2019年度の活動計画を交流しました。6月に高教組事務職員部と合同で行う研修会、8月に行われる全国学校事務研究会会長崎集会、11月の合同教育研への参加などを話しました。また、サブロク協定の話など、全国でも問題になっている話などもされ、全員で連携を今後も強化していきたいと、一人の知識では太刀打ちできない状況にもなりかねません。長崎集会では北海道からレポートを今年も出すことが決定

し、参加体制も作っていきます。常任委員会議を9月に開催し、各地の情勢や道教委との交渉内容を確認し合いながら、北海道・東北ブロック会議において青森とも連携を高めていきたいと考えています。

2019年度も全道や全国の状況を組合員に少しでも還元し、さらに北海道として、みんなで力を合わせていきたいです。一つ良くなれば連鎖することを考え、よりよき学校づくりと楽しい職場生活、さらにはよい人生、それが周りの仲間達にも広められるようにしていければと考えます。



【2019年度事務職員部役員】

- 部長 永島敦史 (宗谷)
- 副部長 土居隆弘 (胆振)
池本 修 (根室)

養教部総会 (5月18日)

5月18日、5単組2連絡会から8人の参加で総会が行われ、子どもの実態や学校と保健室の様子の交流がされ、昨年度の総括と今年度の方針が確認されました。

■小学校でも7時間授業。土曜授業。夏休みの短縮。1日の日課も余裕がなく、子どもの自由な時間が少なくなってきた。保健室に来室する子どもたちの対応が大変になってきている。どのように寄り添っていけばよいのか■フッ化物洗口やピロリ

菌検査などの市町村や道の事業が学校に降りてくる中で学校としてどこまで子どもの健康問題に責任をもつのかとその事業に関わる養護教諭の仕事量がどのくらいなのか、現場ではどんな大変さがあるかの実態を洗い出す必要があるのではないかと北海道でもひどい暑さになることが多くなってきた。地域によっては熱中症対策で保健室にエアコンが必要ではないか■組織拡大がなかなか進まない中でも、新卒者向けパンフの作成やLINEを使っただけでなく、組合の良さをどう伝えるかなど各地で工夫されている。

総会の中でこのようなことが話されました。私たちは、私たち自身が元気の出る養教部をめざすとともに、子どもの実態にたち、子どもに寄り添い、子どもたちの笑顔輝く学校づくりに力を尽くしたいと思っています。



【2019年度養教部役員】

- 部長 和田千鶴子 (宗谷)
- 常任委員 間山純子 (後志)
押見みゆき (檜山)
中村文恵 (上川)

女性部総会 (5月25日)

7つの単組から参加があり、昨年度の取り組みと今年度の活動計画、各単組の様子について交流しました。各単組とも、LINEやメール、リストの活用など、工夫を凝らして繋がりを作っている様子が語られました。

また、職場の様子では、英語専科の配置

や出退勤時刻の管理など、「働き方改革」として一定の動きがある一方で、「授業改善推進チーム」が派遣されて単元計画や指導案作りが割られる、仕事量削減のために減らされるのは「家庭訪問」「ノートのコメント」「文集づくり」...と、さらに仕事が増え、減らされるのは大切にしたいことばかり、という実態も交流されました。

最後に、女性部アンケートの回答から道教委への要望を話し合いました。
①「生理休暇」に更年期障害を加えて「女性休暇」とする。
②子どもの行事などにも対応できる「家族休暇」の創設。
③「免許更新制」の廃止を国へ要望すること。

などの意見が出されました。中学校の部活動や特別支援教育、混合名簿についてなど、話題が多岐に及び、とても充実した、元気の出る総会になりました。



【2019年度女性部役員】

- 部長 山口政世 (釧路)
- 副部長 山本佳奈子 (宗谷)
市来成子 (桧山)



スマホのバーコードリーダーをかざすと署名の画面につながります。

ネット署名に change.org にご賛同を!

せんせい ふやそう